

令和7年度 はじめての人（入門レベル）のための日本語教室 報告書

1. 事業概要

(1) 趣旨

堺市では外国人市民への日本語学習支援は民間のボランティア団体等により行われているが、市内に在住する外国人人口 20,456 人（令和7年4月末現在）に対し、日本語教室に通う外国人数は延べ 413 人（令和7年4月1日現在）にとどまっており、日本語学習を必要としながら教室に足を踏み出せない、または、日本語教室の存在そのものを知らない外国人も多いと考えられる。

このような現状から、外国人市民の孤立を防ぐためにも、外国人市民の日本語学習の需要を掘り起こして地域の日本語教室につなぐことが必要であると考え、平成25年度より市主催で日本語教室を実施し、本教室で学習を終えた学習者を地域の日本語教室につなぐ形で事業を実施している。また、対象を入門期の学習者とすることにより、ボランティア団体の負担の軽減を図るとともに、本教室を市内で活動する日本語ボランティアの実践研修の場と位置づけ、入門期の学習者への学習支援法や接し方、本教室で採用しているマスターテキストアプローチによる学習支援や場面会話、対話型活動の方法をアシスタントとして学ぶ機会を提供し、その習得及び地域日本語教室での活用を促す。

(2) 実施スケジュール

検討会議を開催して昨年度事業の振り返り及び今年度事業の実施方法等について検討し、検討結果をもとに日本語教室を実施した。また、日本語ボランティア実践研修参加者（アシスタント活動者）の増加及び本教室で使用している教材『さかい de にほんご』*の「つながるにほんご」を活用した学習支援法の普及を目的に「日本語ボランティア実践研修」に先駆けて、「日本語ボランティアスキルアップ研修」を実施した。すべての事業終了後に総括を行った。

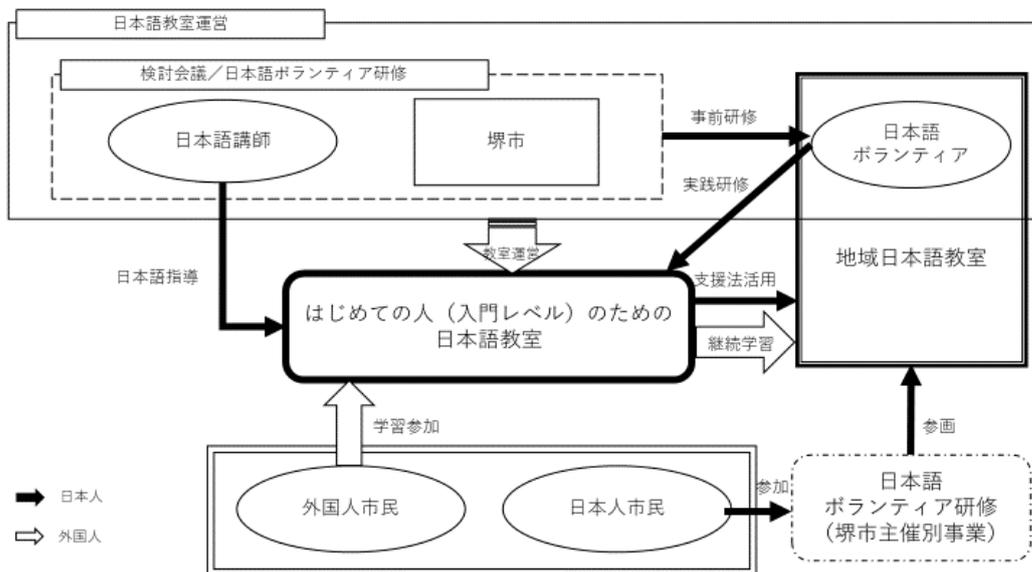
*『さかい de にほんご』は「つながるにほんご」と「ばめんのにほんご」で構成した本市作成教材。

<実施実績>

開催日時	項目	内容
7/16 13:30～15:30	検討会議 今年度事業実施方法の検討	1.実施方法検討 教室運営、授業進行、配付資料等
8/5 14:00～16:30	日本語ボランティアスキルアップ研修	1.「つながるにほんご」の使い方及びコンセプトの紹介 2.「つながるにほんご」を活用した対話型活動の方法など
9/9 14:00～16:30	日本語ボランティア実践研修 「事前研修－講義－」	1.「はじめての人のための日本語教室」事業の趣旨説明 2.日本語教室のカリキュラムと内容 3.『さかい de にほんご』の構成及び使い方 4.アシスタント活動の考え方ややり方(活動の流れ)
9/16 14:00～16:30	日本語ボランティア実践研修 「事前研修－講義－」	1.各活動の練習の流れと留意点 2.アシスタント活動の具体的な内容と留意点 3.「やさしい日本語」について 4.「ばめんのにほんご」ロールプレイの準備
9/26～11/21 火曜・金曜 14:00～16:00	日本語教室	火曜日：「つながるにほんご」 金曜日：「ばめんのにほんご」 トピック会話

(全 15 回)		
9/30～11/21 火曜・金曜 13:50～16:20 ※授業は 14:00 ～16:00 (全 14 回)	日本語ボランティア実践研修 「実践研修－授業参加－」	火曜日：「つながる日本語」 マスターテキストアプローチによる教室 型レッスンの補助、練習相手 金曜日(前半)：「ばめんのにほんご」 場面会話のロールプレイ、補助、及び練習 相手 金曜日(後半)：トピック会話 対話型活動の実践
12/17 13:30～15:30	総括会議	1.事業報告 2.事業振り返り 3.次年度に向けた検討

(3) 事業スキーム



(4) 事業運営体制と役割

<検討会議・日本語ボランティア実践研修運営メンバー>

役割	名前
アドバイザー	澤田 幸子 (合同会社おおぞら日本語サポート)
講師	矢谷 久美子 (日本語教育支援グループことのは)
講師	正多 宏美 (一般財団法人海外産業人材育成協会)
事務局	堺市文化観光局文化国際部国際課

<日本語教室運営メンバー>

役割	名前
アドバイザー	澤田 幸子 (合同会社おおぞら日本語サポート)
講師	矢谷 久美子 (日本語教育支援グループことのは)

講師	正多 宏美 (一般財団法人海外産業人材育成協会)
アシスタント	市内日本語教室で3ヶ月以上の経験を持ち、事前研修を受けた者 (13人)
事務局	堺市文化観光局文化国際部国際課

2. 日本語教室について

入門レベルの日本語能力の人々が、地域の人たちとの人間関係を構築できるようになること、及び地域社会に踏み出せるようになることを目的に日本語教室を実施した。

(1) 実施実績

<日本語教室>

開講日時：令和7年9月26日(金)～11月21日(金)

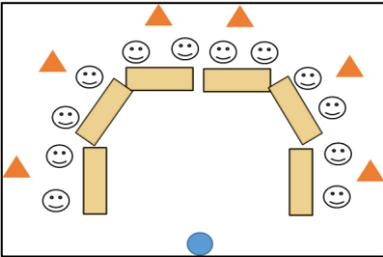
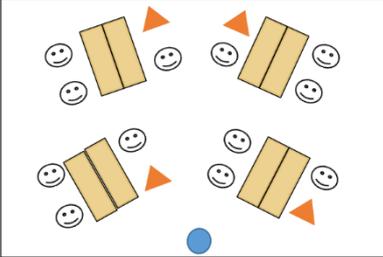
毎週火曜・金曜 14:00～16:00 (全15回)

開講場所：堺市立多文化交流プラザ・さかい 会議室(大)

学習者数：14人(※国籍等詳細は、2.(2)学習者について参照)

授業内容：各曜日の内容は下記の通り

(※全体カリキュラムは、[資料](#)1.日本語教室カリキュラム参照)

	火曜日	金曜日(前半)	金曜日(後半)
授業形態	教室型レッスン	グループ型レッスン	グループ型レッスン
			
	(凡例) ● 講師【1人】 ▲ アシスタント【火曜6人、金曜4人】 😊 学習者【14人】		
テキスト	「つながるにほんご」	「ばめんのにほんご」	テキストなし
テーマ	自己表現のための日本語 ～習得～ (マスターテキストアプローチ)	地域社会へ踏み出す ための日本語 (場面会話)	自己表現のための日本語 ～実践～ (トピック会話)
内容	各課の登場人物の語り文を理解して覚え、その語り文を自分に置き換えて話せるように練習する。同時に、語り文に出てくる文法事項を習得する。	「駅での会話」や「病院での会話」など、日常生活で出会う場面を使って会話練習を行う。また、最後に一人ずつロールプレイを行う。	学習者とアシスタントの混成グループになり、火曜日に学んだ内容と連動したテーマで日本語による交流を行う。

<その他行事>

イベント名：ごみの出し方講習会

実施日時：11月7日(金) 14:00～15:30

参加者数：9人

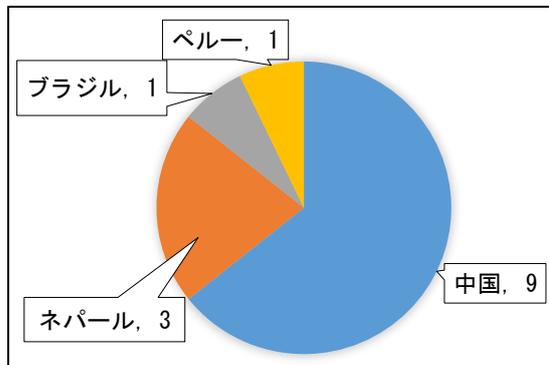
実施内容：通訳を入れて本市資源循環推進課職員による講習会を実施

(2) 学習者について

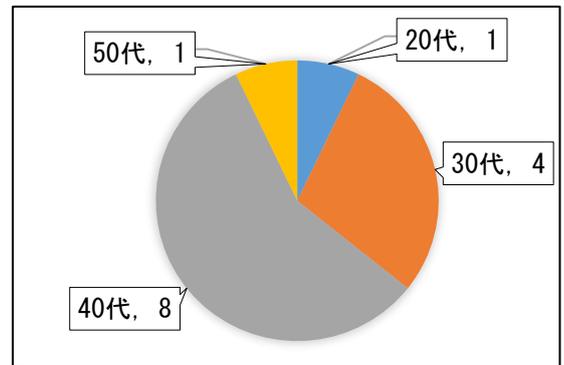
- 5カ国 17人の応募があり、4カ国 14人が参加した。
- 参加者の6割を中国籍が占めた。また、働いている人が半数を超えた。
- 最終継続者は11人で、うち7人が80%以上の出席率で修了した。

<内訳 (全 14 人) >

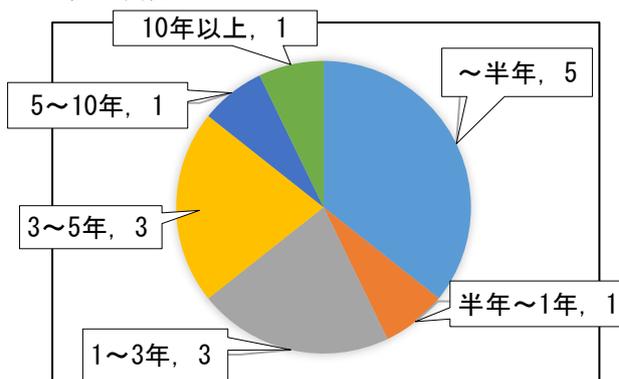
国籍



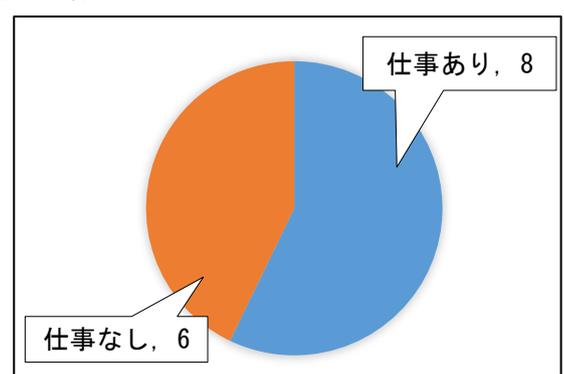
年代



滞日年数



仕事の有無



(3) 学習者アンケートについて (※詳細は、資料2.学習者アンケート 参照)

- 初回アンケートには14人が回答した。多くの人が参加理由として「日常生活に必要」「日本人と交流したい」と答えたが、「会社や学校で必要」との回答も多かった。また、日本語を話せるようになったら、「毎日の生活で話したい」「町で話したい」との回答が多く、「会社で話したい」がそれに続いた。
- 最終アンケートには10人が回答した。回答者全員が「参加してよかった」と回答し、多くの人がその理由として「授業の内容が良かった」をあげた。また、「習った日本語を使って外で実際に話したか」には全員が「はい」と答え、8名が「買い物をするときに話した」と回答した。また、「病院で話した」という回答も半数にのぼった。

3. 日本語ボランティア実践研修

入門レベルの日本語能力の人々が学ぶ日本語教室を実践研修の場と位置づけ、入門期の日本語学習者に対する話し方や接し方、学習支援の方法を実践的に学ぶ機会とした。また、本教室の教材「つながるにほんご」で採用しているマスターテキストアプローチによる学習支援や「ばめんのにほんご」を活用した場面会話、対話型活動の方法などを体験しながら学ぶことにより1対複数での日本語学習支援法を習得し、学習者の増加やボランティアの高齢化等でボランティア不足に悩む教室での活用を促すこともめざした。

(1) 実施実績

開講日時：

<a. 事前研修>

令和7年9月9日(火)、令和7年9月16日(火) 14:00~16:30 (全2回)

<b. 実践研修-授業にアシスタントして従事->

令和7年9月30日(火)~令和7年11月21日(金)のうち、各人、毎週火曜・金曜のうち、指定された4~10日

13:50~16:30 (打合せ・振返りの時間を含む)

〔火曜日は6人、金曜日は4人が従事したが、原則として、金曜日の従事者は、同一週の火曜日に従事した者の中から4人を従事者として指定した〕

開講場所：堺市立多文化交流プラザ・さかい

受講者数：13人

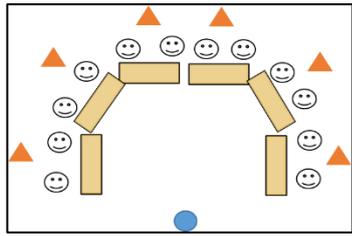
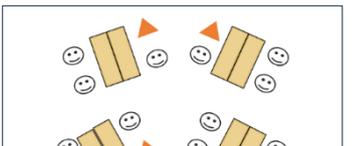
(2) 研修内容

<a. 事前研修>

	内容
1回目	1. 「はじめての人のための日本語教室」事業の趣旨説明 2. 日本語教室のカリキュラムと内容 3. 『さかい de にほんご』の構成及び使い方 4. 各活動の考え方とやり方 (活動の流れ)
2回目	1. 各活動の練習の流れと留意点 2. アシスタント活動の具体的な内容と留意点 3. 「やさしい日本語」について 4. 「ばめんのにほんご」ロールプレイの準備

<b. 実践研修-授業にアシスタントとして従事->

- | | |
|---------------|---|
| 1. 打合せ (10分) | その日の授業のポイントを確認 |
| 2. 授業参加 (2時間) | 講師の指示を受けてアシスタント活動 |
| 3. 振返り (30分) | 担当学習者の様子を全体で共有
活動中の疑問点等を講師に質問
引き継ぎシート記入 |

曜日	配置	内容
火曜日		<ul style="list-style-type: none"> 学習者の後ろに待機し、講師の指導法を観察しながら、入門期の学習者に対する話し方や接し方、マスターテキストアプローチによる学習支援法を学ぶ。 戸惑っている学習者の補助や学習者同士の練習の補助、練習相手をしながら、学習者のことばの習得過程を学ぶ。
金曜日 (前半)		<ul style="list-style-type: none"> 場面会話の進め方や練習の仕方などを学ぶ。 グループ内で学習者の補助や練習相手をし、学習者にとって難しいことは何か、どうすれば分かりやすくなるのかなどについて学ぶ。
金曜日 (後半)		<ul style="list-style-type: none"> 講師の決めたテーマに沿ってグループで交流を進めることにより、入門期の学習者との対話型活動の方法や留意点を学ぶ。

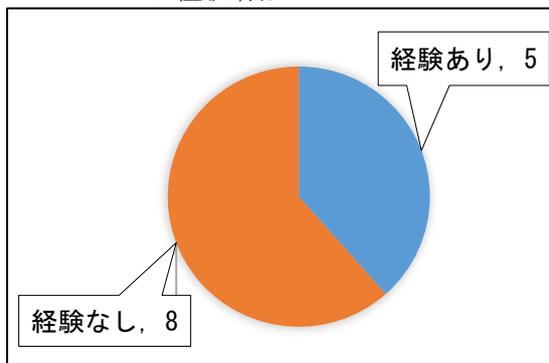
(凡例) ● 講師【1人】 ▲ アシスタント【火曜6人、金曜4人】 ☺ 学習者【14人】

(3) アシスタントについて

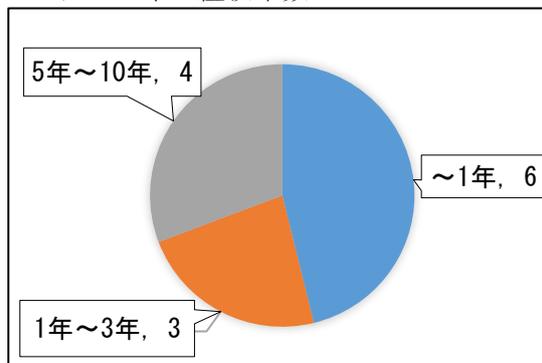
- 市内全 16 教室のうち 5 教室 13 人が参加した。
- ボランティア経験年数が 1 年未満の人が約半数を占めた。

<アシスタント内訳>

アシスタント経験有無



ボランティア経験年数



(4) アシスタントアンケートについて

(※詳細は、資料3.アシスタント最終アンケート 参照)

- 最終アンケートには 11 人が回答し、応募の動機として「ほとんど日本語ができない人にどのような教え方をしたらいいか知りたかった」「所属教室での活動に毎回これでいいのかと不安を感じていた」「クラス授業での活動に参加したかった」などがあがった。
- ほとんどの人が「参加してとてもよかった」または「よかった」と回答し、理由として「習熟度の異なる学習者を担当できたことは毎回新鮮だった」「日頃の悩みが解決できた」「初級学習者へ指導方法が理解できた」などがあがった。また、全員が「入門レベルの学習者への指導法や 1 対複数の支援法を学ぶ場となった」と回答した。

4. 成果と課題

(1) 成果

まず、継続学習者を全員地域日本語教室につなぐことができた点をあげたい。本事業では外国人市民の日本語学習の需要を掘り起こして地域の日本語教室につなぐことを目的の一つとしており、これまでも学習者を地域日本語教室につなぐべく、職員より日本語教室の案内を行ってきた。しかし、学習者全員を対象に担当職員のみで案内するには限界があり、個別に学習者の希望を聞いて案内することまではできていなかった。そこで今年度はアシスタントの協力を得て教室案内を実施した。アシスタントの協力を得ることにより、学習者の希望を個別に丁寧に聞き取ることができ、また、実際に地域日本語教室で活動しているアシスタントから情報を聞いたことは、学習者にとっても安心感につながったと見え、日本語教室終了後の学習場所を見つけることにつながったと考えられる。来年度もこの形を継続して実施したい。

次に、アシスタントの 1 対複数での学習支援である。本事業ではアシスタントの 1 対複数での学習支援の習得も目的の一つとしてあげているが、一昨年度までは複数の学習者を担当しても対応が一人ずつになる傾向がみられた。しかし、昨年度ぐらいから複数の学習者と練習や交流を行うアシスタントが増えたように感じている。事前研修や実践研修において講師よりそのコツややり方を伝えてもらってきたが、それを実践できる人がここ数年増えていると言える。来年度以降も継続して実施したい。

(2) 課題

課題の一つに、レベルの異なる学習者への1対複数での支援がある。前述のように1対複数での支援を行えるアシスタントは増えているが、レベル差のある場合の複数支援については、その難しさを訴える声があがっている。講師は、それぞれのレベルに応じた目標を設定して授業を実施し、折に触れてその方法や考え方をアシスタントにも伝えてきたが、同じレベルでなければ複数支援はできないとの考えは根強い。このことから、来年度は事前研修等でレベルの異なる人がいる複数支援のメリットややり方を伝えることを検討したい。

次に、翻訳アプリの使用についてである。技術の発展により、翻訳アプリが誰でも手軽に使用できるようになったが、アシスタント活動において学習者と話す際にすぐに翻訳アプリを使用してしまうケースが出ている。使い方によっては交流や語学習得の助けになるが、行き過ぎるとそれらを阻害することにもなりかねない。来年度は事前研修等にて再度学習者との交流方法について確認し、翻訳アプリの使用について全体で共通認識を持てるように検討したい。

資料

1.日本語教室カリキュラム

	日にち	テーマ	Can do
1	9/26(金)	初日ガイダンスと簡単な自己紹介	—
2	9/30(火)	「つながるにほんご」 —1課 はじめまして—	・簡単な自己紹介ができる ・簡単に家族が紹介できる
3	10/3(金)	「ばめんのにほんご」 —今日は休みます—	・電話の相手呼び出してもらうことができる ・理由を言って、欠席の連絡ができる
		トピック会話 —わたしはこんな人—	・自己紹介。クラスメートに自分を知ってもらう
4	10/7(火)	「つながるにほんご」 —2課 目玉焼きが好きです—	・好きな食べ物、スポーツなどが言える
5	10/10(金)	「ばめんのにほんご」 —京都までいくらですか—	・行先までの値段や乗り場が聞ける ・乗る電車を確かめることができる
		トピック会話 —わたしの好きな物—	・スポーツ、音楽、アニメなどいろいろな分野で好きなものを話す
6	10/14(火)	「つながるにほんご」 —3課 毎朝、6時半に起きます—	・1日の生活を時間の流れに沿って言うことができる
7	10/17(金)	「ばめんのにほんご」 —これをください—	・売り場の場所が尋ねられる ・サイズや色の希望が言える ・店員のセールストークをうまく遮ることができる
		トピック会話 —わたしの1日—	・起きる時間や寝る時間、休みの日にするなど、身近な生活について話す
8	10/21(火)	「つながるにほんご」 —4課 友達と晩ご飯を食べました—	・簡単な感想が言える
9	10/24(金)	「ばめんのにほんご」 —ここに行きたいんですが—	・路上で行き先を伝え、道を尋ねることができる ・確認しながら相手の説明が聞ける
		トピック会話 —外食—	・よく行くレストランやおすすめのレストランなどについて話す
10	10/28(火)	「つながるにほんご」 —5課 いっしょに見に行きませんか—	・誘いを受けて、時間や会う場所を決めることができる ・相手の申し出を辞退することができる
11	10/31(金)	「ばめんのにほんご」 —かばんを忘れたんですが—	・忘れ物を届け出ることができる ・物の特徴を簡単に説明することができる
		交流会／市内日本語教室案内	—
-	11/7(金)	ごみの出し方講習会 / 市施策説明	
12	11/11(火)	「つながるにほんご」 —6課 買い物に行きました—	・場所の様子が描写できる ・物の特徴が言える
13	11/14(金)	「ばめんのにほんご」 —どうしましたか—	・受付で初診の手続きができる ・症状が簡単に説明できる
		トピック会話 —買い物—	・レシートを使って、買ったものや食べたものなどについて話す
14	11/18(火)	「つながるにほんご」 —7課 ベトナムに住んでいます—	・家族の仕事や性格、特技等が言える
15	11/21(金)	トピック会話 —家族—	・家族の写真やファミリーツリーを見ながら、家族について話す
		発表会・修了式	—

2. 学習者アンケート

(1) 初回アンケート (14 人分)

1. 「はじめての人 (入門レベル) のための日本語教室」をどのようにして知ったか

- 人から聞いた (12)

友だちから	家族から	学校の先生から	その他
2	3	2	5

(その他) ハローワーク (1)、市役所 (1)、日本語教室 (1)、オンライン (1)

- チラシを見た (5)

市役所・区役所	病院	教会	店	その他
4	0	0	0	1

(その他) オンライン (1)

- インターネットを見た (3)

堺市 HP	フェイスブック	その他
2	0	1

(その他) RED BOOK (1)

- その他 (0)

2. 日本語教室に参加した理由

日常生活に必要	仕事を見つけた	会社や学校で必要	家族や友達にすすめられた	日本人と交流したい	その他
10	3	7	0	11	1

(その他) 日本語能力試験のため (1)

3. 日本語が話せるようになったら、いつ・どこで・誰と話したいか

- 毎日の生活で (13)

家族と	近所の人と	その他
4	9	4

(その他) こどもの学校の先生 (1)、職場・学校 (1)

- 町で (12)

人に道を尋ねるとき	買い物をするとき	電車・バスに乗るとき	その他
10	10	6	1

- 会社で (9)

同僚と	上司と	その他
7	6	1

- (自分の) 学校で (5)

先生と	先輩と	友だちと	その他
4	2	3	0

- (子どもの) 学校で (6)

先生と	友だちと	その他
6	2	0

- 病院で (8)

- 市役所で (12)

住民票や証明書などをもらう時	子どもの保育所や学校の申込の時	健康保険や税金などの相談をする時	その他
10	7	11	1

- その他 (0)

(2) 最終アンケート (10 人分)

1. 授業の回数 (15 回) はどうだったか

もっと多い方がよかった	ちょうどよかった	もっと少ない方がよかった
7 20 回 (1)、30 回 (3)	3	0

2. 授業は、1 週間に 2 回だったが、どうだったか

もっと多い方がよかった	ちょうどよかった	もっと少ない方がよかった
4 3 回/1 w (3)	7	0

※1 名「もっと多いほうがよかった」「よかった」の両方に○

3. 火曜日と金曜日の午後 2 時～4 時は、参加しやすかったか

はい	いいえ
10	0

4. 授業に参加しやすい曜日と時間帯

平日午前	土曜日午前	日曜日午前
4 9~12h (1) ,10~12h (1) , 月曜日 (1)	3	3 9~12h (1)
平日午後	土曜日午後	日曜日午後
4 13~16h (2) ,14~16h (1)	3 14~17h (1)	3 14~17h (1)
平日夜	土曜日夜	日曜日夜
4 19~21h (1) ,19~22h (1)	6 18~20h (1) ,19~22h (1)	6 18~20h (1) ,19~22h (1)

5. 「日本語教室」に参加してどうだったか

良かった	まあまあ良かった	悪かった
10	0	0

6. 5 の答えの理由

楽しかった	友達ができた	日本人とたくさん話せた	授業の内容が良かった	日本語が前より分かるようになった
9	8	7	10	6
楽しくなかった	授業がよくわからなかった	もっとたくさん話したかった	授業の内容が良くなかった	その他
0	0	5	0	1

(その他) 先生がとても良かった

7. 教科書について

(1-1) 教科書「つながるにほんご」はどうだったか

やさしかった	少しやさしかった	ちょうどよかった	少し難しかった	難しかった
0	2	7	1	0

※1 名「やさしかった」と「ちょうどよかった」の 2 つに○

(1-2) 教科書「つながるにほんご」で、1回に勉強することばや文法は少なかったか、多かったか

少なかった	少し少なかった	ちょうどよかった	少し多かった	多かった
0	2	10	0	0

(2-1) 教科書「ばめんのにほんご」でどの場面が役に立つか (場面の順位づけ)

①今日は休みます	②京都までいくらですか	③これをください
1…5人、2…1人、3…0人 4…0人、5…0人、6…3人	1…1人、2…2人、3…3人 4…1人、5…2人、6…0人	1…0人、2…2人、3…1人 4…2人、5…2人、6…2人
④ここに行きたいんですが	⑤かばんを忘れたんですが	⑥どうしましたか。
1…0人、2…2人、3…3人 4…3人、5…1人、6…0人	1…0人、2…1人、3…1人 4…3人、5…1人、6…3人	1…3人、2…1人、3…1人 4…0人、5…3人、6…1人

(2-2) ①～⑥以外で、勉強したい場面があるか

タクシーに乗って行き先を言う	銀行でお金をおろす	市役所の受付で窓口を尋ねる	レストランで注文する
3	6	8	4
出前を頼む	美容院で髪を切る	その他	
6	6	3	

(その他) 部屋を借りる・地域活動に参加する・市役所で尋ねる (1)、緊急通報 (火災・警察)・天気予報 (1)、こどもの学校でこどもの先生と交流する (1)

8. 日本語教室で勉強した日本語を使って、実際に日本人と話したか

はい	いいえ
10	0

はい → 誰とどのような場面で話したか

家族と	近所の人と	友達と	会社で同僚と	会社で上司と
4	2	2	2	1
子供の学校で先生と	欠席連絡をする時	電車・バスに乗る時	買い物をする時	人に道を尋ねる時
1	3	3	8	1
病院で	郵便局で	市役所で	その他	
5	4	4	0	

いいえ → その理由 ※2名、「いいえ」に✓はなかったが、選択肢に✓あり

機会がなかった	機会があったが、話せなかった	まだ自信がない	その他
1	1	0	0

9. 今後、市内の日本語教室で勉強するか

はい	いいえ
10	0

10. その他、感想や意見 (機械翻訳によるものもある)

- 先生はやさしいです。
- 先生方の教えにとっても感謝しています。このような授業が継続して、より多くの日本語を学べることを願っています。ありがとうございます。

- ありがとうございました
- 先生方に感謝申し上げます。皆さんありがとうございます。

3.アシスタント最終アンケート（11名分）

※自由記述の部分は一部抜粋

1. 所属日本語教室（複数回答）

ふれあい日本語サロン	堺外国人日本語クラブ	フレンズ	アミーゴスクラブ	にほんご堺東	特定の教室に所属していない
3	3	2	1	1	1

2. アシスタントに応募した動機

- 沢山の外国の方と接点をもたなかった。日本語を話す事がほとんど出来ない人に最初の様な教え方をしたらよいか知りたかった。
- 時間的に余裕があったから。
- 学習者への指導方法の修得等、レベル・スキルUP
- 外国の方との交流。他国の言語との仲介語として英会話を試したい。
- 知人から外国人の日常生活を日本語会話を通じてお手伝いできる活動があると教えていただき、突撃隊のごとくリーダーさんに連絡をとって一度見学させていただいた。次週にはいろいろな方々と一緒に活動が始まり今日に至っている。ちゃんとした研修も受けた事が無かったので、毎回これで大丈夫かと不安に思う事多々あった。今回プロの先生の活動方法をお勉強させていただける絶好のチャンスと思い応募した。とても参考になった。
- 外国籍のお子さんの保護者に日本語教室を紹介したことから私もその日本語教室のアシスタントになりたいと思ったから。
- スキルアップのために、実際の教室現場での授業を見て学びたかった。
- グループで行う日本語講座の先生方の講義の様子を勉強したいと思った。
- 所属しているクラブ運営の方からのお誘い。
- 教え方を学びたいと思った。ほとんど日本語ができない人にどんなアプローチが有効なのか知りたかったから。
- 日頃の活動では、一対一での対応がほとんどなので、クラス授業での活動にも参加したかったため。

3. アシスタント活動について

(3-1)アシスタントとして参加してどうだったか

とてもよかった	よかった	ふつう	あまりよくなかった	よくなかった
7	3	0	1	0

【評価の理由】

とてもよかった

- 応募した目的ははたせた。
- 学習者さんとの距離感や必要な事、優先順位等々、毎回勉強になった。
- 以前アシスタントをしたこともあったがずいぶんと前だったため。再度私も学習したかったため。
- 入門レベルの教室ではあるが、習熟度の異なる学習者を担当できたことは毎回新鮮で、新しい気付きがあったりしてとても良い経験になった。
- 講座が進んでいくにつれて学習者さん達の声が大きくなり表情も楽しそうで、いつも

の教室とは違う雰囲気を感じられた。授業を進め学習者さん達を引き込んでいく先生方の熱意と個性がとても勉強になった。いつの間にか楽しく集中していた。アシスタントをしていても楽しく、学習者さん達にどうしたら上手く伝えていけるのかと考えながら参加させて頂き大変良い経験が出来た。

- 学習の進め方や、発音や抑揚はどこまで直せばよいのか？学習者さんが楽しく続けられるには？など日頃の悩みが解決できたように思う。何より自分自身が楽しかった。
- 少しでも日本語を学びたい外国人の方の力になれたから。学びを続けようと思ってもらえたことは、こちらにとってもボランティアをしていく上でモチベーションにつながった。学習者さんのやる気と楽しんで学ぶ様子を見ていて私も本当に楽しかった。

よかった

- 日本語を学習する外国人の実態を知ることができた。
- 初級学習者への会話面での指導方法が理解出来た。
- 学習者の皆さんが、とても熱心に楽しんで学習されているのがとても良かった。こちららも、やりがいがあったし、とても楽しく参加できた。

(3-2) 事前研修 (9月9日、9月16日実施) はどうだったか

とてもよかった	よかった	ふつう	あまりよくなかった	よくなかった
3	7	1	0	0

【評価の理由】

とてもよかった

- どんな活動になるのかイメージがつかなかったが、事前研修で少し安心感を持つことが出来た。
- 事前にイメージできたし具体的に内容がわかりとてもよかった。
- はじめてアシスタントに参加させて頂いたので事前に講座の流れやポイントの説明があって大変役立った。

よかった

- 忘れていた事を思い出させてくれた。
- 重要ポイントが明確だった。
- 教室の流れやアシスタントの役割がわかった。
- 金曜日のシチュエーション学習には前もって段取りできて、良かったのではないかと思う。
- これからやっていくことを具体的にイメージできた。
- 会話練習 (実践) の際の担当を決めて、それぞれの役割を振り分け、事前にグループで考える時間を取っていただいたのが、とても良かった。小道具など話し合っ決めておくことができたし、学習者がより会話場面を理解して学習の手助けになったと思う。

ふつう

- 受講が2回目だったので、余り新鮮味がなかった。

(3-2)この日本語教室は、皆さん (アシスタント) にとって、

①入門レベルの学習者への指導法や1対複数の支援法などを学ぶ場となったか

はい	いいえ
11	0

②他の日本語教室のボランティアとの情報交換の場となったか

はい	いいえ
6	5

③プロの日本語教師とのつながりの場となったか

はい	いいえ
9	2

(3-3)今後、所属されている教室の仲間や知り合いにアシスタント活動を勧めたいと思うか

はい	いいえ	どちらともいえない
6	1	4

【その理由】

はい

- もっと積極的に色々な学習者と関わることで勉強になると思うので。
- プロの日本語教師の指導を実際に見せてもらえるのは大変貴重な機会です、勉強になる。また在日環境の違う学習者たちに会えて興味深い。
- いつもの教室とは違う授業を体験でき楽しいから。実際にプロの日本語教師の講義の様子を体験でき今後の活動に活かせると思うから。
- 間違いなく必ず何かを学べる。色々なレベルの学習者さんとも出会え、プロの先生が進行、サポートしてくれるので、不安なく指導できた。ボランティアを続けていくための力となった。少しだけ自信もついた。皆さんにも一度は経験して欲しい。
- いろいろなやり方があるのを学ぶ良い機会だと思うし、学習者さんの姿勢そのものからも多くのことを学べるから。

いいえ

- 責任が生じるので、自らではやめておく。

どちらともいえない

- 各自の目的、理由がありそうだから。
- 私自身はこの活動を続けていきたいと考えている。知人にはこんな活動があるよと情報提供はしていきたいと考えている。
- クラス授業は日頃の活動とは少し異なるため、参考になることもあるが、100パーセントお勧めとまでは言えないと思う。その人個人の考え方や判断で決めてもらうしかないと思う。

4. この日本語教室や教材、活動について

(4-1)この日本語教室は、入門レベルの学習者にとって地域や地域日本語教室に踏み出す前の段階として有効だと思うか

はい	いいえ	どちらともいえない
10	0	1

【その理由】

はい

- 広く浅く、日本語学習入門者にとって内容が網羅されているので、テキスト及び日本語教室の理解度によるが、有効だと思う。
- レベルの異なる学習者達のがながりが生まれたように思う。学習者間の今後の協力関係ができそうだから。
- 第1歩として楽しく学習できるので。
- 日常生活に最低限必要な場面をイラストやローマ字、母語で表現されていて改めて私自身の今後の活動の助けになる一冊になった。
- なかなか教室に通えない方もいるようなので、少しでも学ぶ意欲のきっかけとなれば良いと思う。
- 全くの入門レベルの学習者には困難があったかと思うが、異国の地で生活する人々が私達を仲介として、日本を身近に感じながらひと息つけるような、そんな暖かい環境

であり得たと思う。

- 日本語を楽しく学ぶきっかけになり、もっと日本語を勉強して日本人と会話したいと思ってもらえ、「ばめんのにほんご」では日常生活に実際役立っていると思うから。
- 有効だと思う。そして宿題（予習）も大事ですね。宿題をして来ても理解できない、授業についてこれない学習者さんは初期段階で把握する必要があるかもしれない。ここでのアシスタントの役目も大きいですね。入門レベルだから、誰も落ちることなく学べていかなければいけないと思う。
- 学び続けようと思った人がいることだけでも証明されてると思う。実際のボランティアから教室を勧められるのもいいと思う。
- 全員が同じ日本語レベルではないため難しい面もあるとは思うが、生活上役立つ内容でもあるので、自宅学習も含め十分に学習すると、大変有効なのではと感じる。

どちらともいえない

- 最初の段階で、丁寧語、尊敬語、謙譲語など日本語の話法がシチュエーションで変化する事を伝えておいた方が良くと思う。

(4-2) 「つながるにほんご」(火曜日の授業) について

① 「つながるにほんご」の内容や進め方は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	よくなかった	どちらともいえない
9	0	2

【その理由】

よかった

- 日常使う簡単な会話を学べて良かったと思う。何度も繰り返し、教えているので良かった。
- 大きな声で日本語を発する機会になったと思う。みんなで話せばなんとかなる。
- 文字・文法ではなく、イラストを使用し、くり返し練習が良い。
- 学習者さんはみなさん先生の言葉に一生懸命ついていってらっしゃる様子がみえたので、今後の生活にきっと何処かでリンクしてくるんじゃないかと思う。アシスタントと繰り返し会話する時間はもう少しあるとよかったかなと思う。
- 事前に予習などは必要なのももちろんだが、身近な場面での学習なのと何度も口に出してくり返し発語することは有効だと思った。
- 何度も繰り返し日本語ならではの発音を指導されていた。確かに普段日本人が意識しない発音（文字を読むだけでは伝わらない）を講師の口元を注目するように指導されていた。テキストで目から学び講師の発音を耳から楽しく学べたと思う。日本へ来たばかりなら、自分のことの話さなければならぬ機会は多いでしょう。話したいけど話せない。そんな方たちにはピッタリな内容だと思う。そして、絵を見て反復、先生のジェスチャーも見て反復、文字を読んで反復、内容もしっかり理解できるし、自分に置き換えての作文で更に実践会話になりますよね。発表で自分の事を話せるみなさんはとても嬉しそうだった。
- 繰り返して練習の後、グループでやってみる。やはり少人数制は有効かと思う。

どちらともいえない

- 2時間で終わるにはテキストが長く、内容も多いと思った。
- テキストの丸暗記は、一部の学習者にとっては大変だったように思う。日本語レベルが異なるため仕方がないのかもしれませんが、もう少し量を少なくしてみるというのはどうでしょうか？文章の少ない方と多い方の2種類にして、どちらかを暗記するようにはしてみてもいいのではと思う。

②「つながるにほんご」やその活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうか

はい	いいえ	どちらともいえない
7	0	4

【その理由】

はい

- 初心者には活かせる。
- 学習者さんによっていろいろあるが、日本語がほとんどわからない方へのアプローチ方法を知った。
- プロの先生の授業で学習者への具体的な指導が見られてたいへんよかった。
- イラストを見ながら何回も言葉やフレーズを言ってみるといのは、学習者にとって日本語学習のハードルが低くなると思う。
- とにかく楽しい雰囲気だった。少しオーバーな感じの方が学習者さんには伝わりやすく、今後の教室活動に活かしていきたいと思った。
- 教科書の内容のシチュエーションを変えて、同じ学習方法で進めていけたらと思っている。話すのが楽しい。理解できるのが嬉しい。そんな学習時間にしたい。複数者学習も今後、怖がらず挑戦できるかも。(まだまだ先だが)
- 繰り返し言ってみるといことが有効だと思った。

どちらともいえない

- 『みんなの日本語』を使って教えているので、そちらを使いたいと思う。
- 学習者が固定されていない。
- ボランティアとして、今後どうするか決めていないので、特定の教室に所属しようとすると、その会への入会や会費の納入を求められるのだが、それが必要かどうか？かえってそれが障壁となっていないかと。
- こちらは、やはりクラス授業用という感じがする。でも、途中で何度かある一対一での練習や対応は、そのまま日頃の活動に十分活かせる。

(4-3)「ばめんのにほんご」(金曜日前半の授業)について

①「ばめんのにほんご」の内容や活動は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	よくなかった	どちらともいえない	参加していない
8	0	0	3

【評価の理由】

よかった

- 実際の場面を想定して教えているので、学習者には役に立ったと思う。
- 現実に学習者が必要とする内容かと思う。
- 日常生活での実際に使用できるようになる。
- どの場面も日本で暮らす中で必ずある場面なので参考になったと思う。
- 場面を設定してのロールプレイはわかりやすいし楽しい。学習者から出てくるアドリブの日本語も興味深い。
- 実際によくある場面をテーマにしているので、日常生活にすぐに役立つ内容だと思う。アシスタントが前で演じて見せるのは学習者さん達にとって分かりやすかったと思った。
- 日常に活かしていると実際に学習者が話していた。
- 場面設定なので、実際に日常生活で使える日本語を学べたのではと思う。

②「ばめんのにほんご」やその活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうか

はい	いいえ	どちらともいえない	参加していない
5	0	3	3

【その理由】

はい

- ケーススタディーなので、学習者に役に立つので機会があれば教えたい。
- 恥を捨てて演じることができればだが。
- 参考になった。
- 場面のイラストを使って自由な会話がしたい。その過程で、知っておかなければならない文法などを入れていければおもしろそう。
- 具体的な内容、普段困っていること聞きたい事などを気軽に聞けて説明・アドバイスが出来る様な関係性が出来たらいいなと思った。

どちらともいえない

- マンツーマンではなく、グループで使用出来る。
- スライドや絵は教室では準備できないし、動いてみるのも難しい。ただ、会話をやってみるといえるのはできるなと思った。複数の学習者が相手だとなおさらできそう。
- 場面設定をして会話練習というのは実際には難しい。でも映像で場面を見てもらって、というのは可能なので、これからの選択肢にはなるかと思う。実際には映像機器などが必要になるので、場面の絵などになるかと思うが。

(4-4) トピック会話（金曜日後半の授業）について

①トピック会話の内容や活動は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	よくなかった	どちらともいえない	参加していない	無回答
6	0	1	3	1

【評価の理由】

よかった

- 自分の言いたいことを表現しようとする動機づけに良い。
- 波及した会話や自己表現が出来、又、学習者との交流になり良い。
- トピックからさらに話が膨らむ事が多かったので、学習者さんも楽しそうだった。私も楽しかった。
- 具体的な内容を自分の言葉で表現出来る良い体験になったと思う。自分で発表し、他の学習者さんの発表を聞くのは楽しい経験になったと思う。（話す機会と聞く機会が同時に体験出来る）
- 自分のことに置き換えて考えることができる。
- 学習者自身について会話することが多かったので、学習者も楽しんでできたようだし、こちらのサポート活動も楽しめた。

どちらともいえない

- 使い方の練習、復習になるが、そこまでレベルや学習が追い付かない学習者がある。

②トピック会話の活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうか

はい	いいえ	どちらともいえない	参加していない	無回答
7	0	0	3	1

【その理由】

はい

- 学習者の発話の機会が増やせそうだから。
- 実際に活かしている。
- アプローチの一つとしてとても参考になった。
- 復習として、使えるように丁寧にやってみたい。

- 一方的に教えるのでは無く、学習者さんが日本語で自分自身や家族、普段の生活を話す時間をもっと多くとる様にしたいと思った。
 - フリートークがしたい学習者もいるので、その時にやってみようと思う。
 - 学習者が自身について、できるだけ多くのことを話せるようサポートしていきたい。
5. アシスタントとしての活動経験を活かして所属教室でやってみたこと、またはやってみたいこと
- 「ばめんのにほんご」をやってみたい。
 - 理想と現実のギャップ。自分の能力不足痛感。
 - この『さかい de にほんご』のテキストを活用しているし、初級の学習者にとっては良いテキストと思う。
 - 会への入会や会費の納入を求められない教室があれば参加したい。
 - まだまだ現状の活動で学習者さんに喜んで帰ってもらえるかどうか、また来てくれるかどうか、毎回心配している段階。
 - くり返しくり返し発語させることが効果的だと思っけていてもついつい説明などに口出し過ぎると反省する。
 - 場面のイラストを見て自由に発話しながら、総合的に学習が進められるかどうか、やってみたい。
 - 初めてアシスタントとして参加させて頂いた。プロの日本語教師の講義を実際に体験出来てとても参考になった。参加していくうちに、学習者さん達とも仲良くなれて笑顔で楽しそうに学習されている姿を見ながら私自身もとても楽しく嬉しい気持ちになった。日本語を楽しく学べるお手伝いを今後もしていきたいと思う。
 - 教室全体では難しいかもしれないが、個人的には実践活動をやってみたい。一度だけ、神社のお参りの仕方を方違神社でしたことがある。
 - 初めての人が来たら、このテキストを使ってやってみようと思う。
 - 私が所属している教室では、教室全体で何かイベントをしたりということはしていないため、できればスピーチ大会や簡単なパーティーなどできればという希望がある。
6. 事業全体を通して意見や感想等
- 毎回ご苦労様です。学習者を取り巻く環境も変化しているので、今何が学習者に必要なか……。スマートフォンで知識のカバーは可能だが、やはり人と人とのコミュニケーションが大切だと思った。
 - 来年も参加したい。7週でここまで上達するとは思わなかった！もう少し長い期間の方が良いかと思う。
 - 同一週の平日2日の昼間の日程は、ボランティアとして参加するのは少し厳しかった。どちらかは夜間あるいは土、日になるとありがたい。
 - まだ一年半くらいなのでよくわからないが、ボランティアさん達の気持ちで運営される活動。私は自分の時間の活動が終わったら帰るが、取りまとめてくださってる方々がいろいろ作業等して下さってるんだろうなと想像つくのでこのままでいいのかなと。ただまだ自分は活動以外の時間に余裕もなくお手伝いも出来ないので申し訳なく思っている。運営の全体像がよくわからずそのままだが、その点が気になる。
 - これからも反省と学習を続けて、少しでも学習者への支援を続けていきたい。
 - 貴重な学びの機会をいただきありがとうございます。学習者に加えてアシスタントの指導まで、矢谷先生、正多先生、たいへんにありがとうございます！
 - 日本語を学ぶ学習者が増えるのは嬉しいが、教室活動のボランティアの不足が気になる。ボランティアを増やす様に検討して頂きたいと思う。
 - 今回の「日本語教室」のことしか分からないが、参加された方が楽しくて周りの人を誘ってくれる、そんな企画がいいですね。

- もっと周知されるべきだと思う。夜にアシスタントをする人は少ないかもしれないが、その分募集を減らすなどしてやってみるのもいいと思う。
- 4回くらいしか参加できなかったのも、アンケートもどれだけ参考になるのかという不安もあるが、学習者の皆さんが毎回、楽しんで学習されていたし、こちらも楽しく参加させていただくことができた。ありがとうございました。